

3 概要

総供給（＝総需要）	10兆4,184億円
うち県内生産額	7兆3,199億円
県際収支（移輸出－移輸入）	△3,924億円
全国シェア（生産額による）	0.78%

(1) 総供給

平成23年の県内経済における総供給額は、10兆4,184億円であり、このうち県内で生産された財・サービス(県内生産額)は、7兆3,199億円、県外からの移輸入は3兆0,985億円となっています。総供給額に占める移輸入の割合は、平成17年の27.98%から1.76ポイントの増加(29.74%)となり、県内全体における自給率が下がったことを示しています。(図1)

(2) 生産活動

生産額を財とサービスに分けてみると、財部門の生産額は3兆8,437億円、サービス部門は3兆4,762億円となっています。

また構成比をみると、財部門は52.5%、サービス部門は47.5%となっており、財部門では、製造業の構成比が増加したことなどから平成17年から0.5ポイント上昇、逆にサービス部門は0.5ポイント低下しています。

(3) 総需要

次に、需要面から見てみると総需要額(＝総供給額)は10兆4,184億円で、そのうち各産業の生産活動に要する物的経費である中間需要額は、4兆0,869億円となっており、全体の39.2%を占めています。また、県内での消費及び投資となった県内最終需要額は、3兆6,254億円で34.8%を占め、残りの2兆7,061億円(全体の26.0%)は県外への移輸出にまわされています。

全体の構成比をみると、中間需要額は中間投入比率の上昇などにより平成17年の36.4%から39.2%と2.8ポイント増加しています。一方、県内最終需要額については、36.3%から34.8%と1.5ポイントの低下、県外最終需要額である移輸出についても27.3%から26.0%と1.3ポイントの低下となっています。これらのことから、需要面からみた県経済については、県内における中間需要の比率が高まったことを示す結果となっています。(図1)